

* 課題研究発表 *



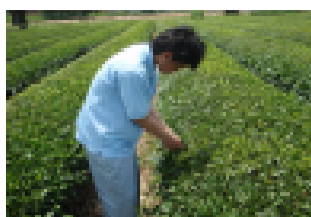
綾高東分校
さわやか夢通信
第74号
H23. 2. 28発行
京都府立綾部高等学校
東分校



「マルチ資材の違いによるズッキーニの生育、収量・品質の比較」

農業科野菜専攻：男子3名

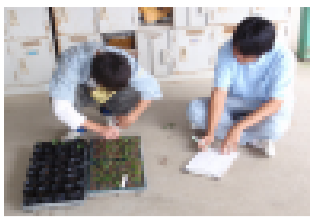
地温上昇効果のある黒マルチ、地温上昇効果を抑制するシルバーマルチ、地温を低下させる敷わらでズッキーニを栽培し、生育、収量・品質に差があるのかを調べた。



「学校のお茶の更新のために一番良いチャの繁殖方法を調べる」

農業科作物専攻：男子2名

お茶の更新をするために繁殖方法を研究した。繁殖方法の中で一番簡単な挿し木をする場合、どのような土を使うのが最適か研究した。



「シクラメンの開花促進における研究No.3」

園芸科草花専攻：女子3名

今年度は約1000鉢のシクラメンを栽培した。肥料の回数・濃度を検討するとともに、予定日に開花できるように植物ホルモンを用いて開花促進を試みた。



「美味しい野菜を作るために～塩・酢・砂糖・砂糖+EM菌の利用～」

園芸科野菜専攻：男子1名 女子4名

美味しい野菜をつくるために、砂糖・塩・酢などを水に溶かし、トウモロコシ・ジャガイモにかん水し、成長や味の違い等を比較した。

「続 Mulberry Bread ～桑の実と桑の葉を使った天然酵母パンを作ろう～」

農芸化学科食品製造専攻：女子3名

「蚕部 綾部」を復活させるため、桑の実天然酵母パンを作製した。桑の葉を粉末にして、天然酵母パンに加えるなど、桑の葉の加工法についても新たに考え、開発に取り組んだ。

「ミミズのカ」

農芸化学科食品化学専攻：女子4名

ミミズの働きにより、栽培したものにどのような影響が出るかを調べた。ミニトマトを栽培し、成長過程、収穫数、糖度などの比較した。

* 意見発表 *

「これからの日本を支える農業～農業の楽しさを知って欲しい～」

1年生農業科 男子



今、農業をしている人は非常に少ない。世界的な異常気象や家畜伝染病の蔓延などから考えて、近い将来食料不足が現実になるかもしれない。このような状況だからこそ、今後農業をする人を増やしていかななくてはならない。

私は現在農業を学ぶことがとても楽しい。私が体験したように農業の楽しさをもっと多くの人に知ってもらい、農業をする人を少しでも増やしたいと考えている。そのような思いから、私は将来農業科の教員になる夢を持っている。農業の楽しさを伝えることの出来る教員を目指して、今後も頑張りたい。

「食農保育」

1年生園芸科 女子



私の夢は保育士になることだ。将来、「食農保育」が実践できる保育園で働きたい。

自分自身も小さい頃に食農保育を経験し、収穫の喜びや命の大切さを学んだ。そういった経験を、より多く子ども達にさせたいと最近考えている。

また、園芸科で1年間学んだことから、「花育」にも興味が出てきた。小さい頃から花や緑に親しみ、育てる楽しさも保育に取り入れれば、子ども達はよりいきいきと毎日を過ごせるのではないかと。

農業や園芸について、知らないことはまだまだあるが、これから知識を増やし、花も野菜も何でも教えられる保育士になりたい。

学習発表会

2月17日(木)に綾部市民センターで第42回綾部高等学校農業クラブ学習発表会が行われました。
3年生は各専攻代表グループが1年間を通じて取り組んだ、「課題研究」の成果を発表しました。
1・2年生は各学科から1名計6名の代表者が、日頃の授業や実習を通じて得た自分の意見を発表する「意見発表」を行いました。

* プロジェクト発表 *



「由良川 spirit ～由良川の調査と可能性の探求～」

農芸化学科食品化学専攻：男子4名 女子3名

日頃学んでいる専門知識を活かし、水の研究を行った。主に由良川や畑の貯水槽の水質調査を行い、河川水の新たな利用法についても追求した。

最優秀 「一つの挑戦が未来の道になる」

2年生農業科 男子



様々な事件が沸きあふれている世の中、自分も世もこのままでよいでしょうか。

小学生の先生から教えていただいた「一人は皆のために皆は一人のために」という言葉が目指す将来に対する思い、家族をしっかり支えていかなければならないという思いを両立させる心構えを決心させた。

挑戦していくことが、現代社会を担う私達が社会を築き上げる為に欠かせないことであり、自分の夢への道を探し出すヒントになるのだと私は思っている。

将来私はフィリピンの祖父と農業をし、環境や人の為になる様々なボランティア活動をしたい。

「私の過去から未来への道」

1年生農芸化学科 女子



私の将来の夢は、調理師になってお店を持つことだ。調理師になりたい理由は小学校の頃にさかのぼる。

小学校4年生のときから、料理の手伝いをよくするようになり、それを通じて、母への感謝の気持ちや、家族の温かさやありがたさを感じた。

農芸化学科の実験や実習では、自分達が食べる食材を自分の手で育てる楽しさ、加工の手順や段取りを学んでいる。東分校に来て、「人を笑顔にさせる料理をつくりたい!!」という目標を持ちました。

卒業後は専門学校で調理士免許をとって、いつかは自分の店を持ちたい。厳しい道のりが待ち受けているとは思いますが、過去から未来へ進むようにまた新しい第一歩を踏み出し、夢を追いかけていきたい。

「由良川と私」

2年生農芸化学科 女子



私は小学校の頃から由良川にふれてきた。小学生の時は川で遊んだり、鮭の稚魚を放流した。高校生になってからは、先輩と合同の由良川の水質調査を行う研究グループに参加し、滴定実験をしたり、水生生物の調査などを行った。その研究から由良川の水がきれいだということが分かり、このきれいな水を使いゴーヤの栽培を行った。

この研究を通して、より由良川を身近に感じるようになり、これからもこの美しい由良川を維持し、保っていければいいと思う。